

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店〔書籍〕（従業員） 住宅販売会社（従業員）	来客数の動き 来客数の動き	・ガソリン価格が低下したため、週末の来客数が増えている。 ・石油価格の下落が客の動きに好影響を与えている。
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（店長）	販売量の動き	・売上はゴルフコンペ用の景品販売などで維持している。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・タスポ効果が続き、売上は3か月前と同じ水準で推移している。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・車の買換え・修理のタイミングや費用面を見ると、客の買い控えや節約の意識が鮮明である。家計がひっ迫しているという客の声が多い。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・景気の先行き不安から企業の交際接待費は激減している。高単価の店では当然、個人の来客数は伸びていない。また、選挙前には30名前後の宴会が減少するのが通常であるが、今回も当てはまっている。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・株価暴落の影響が懸念されたが、来客数はほぼ前年並みで推移している。10月末にオープンする大型ショッピングセンターの近隣では、工業者、納入業者などの来店がプラスに働いている。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・10月から総務省がテレビ受信者支援センターを全国で開設し、地デジ推進に積極的に取り組んでいる。このPR効果もあり、ケーブルテレビデジタルサービスの需要は徐々に上向きになっている。
		美容室（経営者） 住宅販売会社（経営者）	来客数の動き お客様の様子	・来客数の減少を客単価の上昇でカバーし、売上を維持している。 ・見込み客の動きが鈍化している。
	やや悪く なっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・長年営業していた地元企業の閉店、閉鎖などの情報が毎週のように聞かれる。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・株の暴落や急激な円高について、「ぜいたくはできなくなった」という客のぼやきが聞こえる。このような光景はコンビニでは極めて珍しい。
		コンビニ（店長）	それ以外	・タスポ効果によるたばこの売上増が全体の売上に寄与している。しかし、食品などの売上は3か月前に比べ減少している。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・9月は寒さもあり、秋冬物の動きは良かったが、10月から来客数が急激に落ち込み、客単価も低下するなど、売上は悪化した。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・販売促進費を減らした影響もあるが、全体の売上は前年に比べ2けたも減少した。オール電化、リフォーム関連は好調であるが、AV、パソコンの落ち込み幅が大きい。携帯電話は前年の50%を割った。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・建設業の大手企業や自動車ディーラーが倒産し、影響が出ている。ガソリン価格は低下しているものの、世界同時不況の懸念から先行き不安が大きい。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・9月半ば以降、関西圏からの個人客の予約が伸び悩んでいる。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・売上は前年比103.0%、宿泊人数は同102.7%、宿泊単価は同101.5%である。しかし、売上の年間累計では同124.3%と勢いが失われつつある。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊、レストランの利用客が低迷している。レストランでは昼食の利用はほぼ前年並みだが、夕食の利用が低調である。一般宴会の受注も伸び悩み状態である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・全部門で低迷しているが、特にレストランの売上が激減している。
旅行代理店（従業員）		来客数の動き	・秋から年末年始の旅行の相談に来る客が、前年に比べ半減している。	
通信会社（営業担当）		販売量の動き	・株価暴落の影響もあって、客の財布のひもが固くなっている。携帯電話の1人当たり買上台数が減り、来客数も前年に比べ30%減少している。	

	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・携帯電話の新サービスを開始したため、プランを見直す客は若干増えた。しかし、端末購入客は半減している。
	競輪場（職員）	単価の動き	・1人当たり車券購入額は3か月前に比べやや減少している。
	その他レジャー施設（職員）	お客様の様子	・新規入会者の伸び悩みによる会員数の減少に伴い、売上高は前年に比べ減少している。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・飲食店で夜の来客数が激減している。一方、食品スーパーでは人出が多いにもかかわらず、客単価が低下している。街なかの人出も少なく、来街者も買物よりも、ブラブラしている傾向が強い。
	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	お客様の様子	・世界的金融危機による株安・円高で、企業だけでなく、消費者の心理も極端に落ち込んだ。また、金融機関の貸し渋りなどの話が客から聞かれ、売掛金の回収が悪化してきた。
	一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	販売量の動き	・販売量は前年に比べ15%減少している。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・気に入った商品があっても、購入をためらう客が多くなっている。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・例年の衣替え時期には、コートとブーツのコーディネート購入が見受けられたが、今年はゼロに近い。どちらか1点だけの客もいるが、迷った挙げ句、全く買わない客も半分以上はいる。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数、1人当たり買上点数、ビル館内の買い回りの様子など、すべてが3か月前に比べ悪くなっている。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・婦人衣料の売上はようやく前年の97%までこぎ着けた。客の買物は単品が多く、トータルコーディネートによる購入が少ないため、客単価が低下している。また、株価低落の影響から、宝飾品、高級バッグ、毛皮などの高額品の販売で苦戦している。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・特別セールを実施したが、期待どおりの効果が上がらなかった。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数、買上点数は変わっていないが、客は生活防衛のため安い商品を買っている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・客から「食料品など必要なものしか買わない」、「余計なものにお金を使わない」という声を多く聞く。事実、食品の売上は前年を上回っているが、衣類の落ち込みが激しい。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・客の間に不景気感が漂っており、多くの商品で買い控えが見られる。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・食品、ホームセンターのいずれの売場でも客単価が4、5%減少している。新聞等で報道される株価下落、円高による不景気感が消費にも影響を与えている。
	スーパー（営業担当）	単価の動き	・10月に世界的金融危機が発生して以来、買上点数、1品単価共にダウンしている。
	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・月の中盤までは周年記念セールの展開などで好調に推移した。しかし、後半は悪天候や気温低下により悪化し、月全体の売上は前年比3%減少した。また、小銭の支払が急増し、紙幣の回収が激減しており、景気の厳しさが感じられる。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・消費の低迷に加え、気温も寒くならないため、ブルゾンやコートなどアウターの売上が伸びない。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・ウィンドウショッピングの客すら少なくなった。必要最小限の物しか買わず、客の財布のひもはますます固くなった。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数、売上共に前年を下回っている。	
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新車、中古車共に受注状況が極めて悪い。ショールームへの来場者数も減少気味で、低燃費の小型車の受注も伸び悩んでいる。	
乗用車販売店（営業担当）	単価の動き	・来客数、販売量共に激減している。	
乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・金融不安の影響を受け、消費者心理は冷え込み、車の販売台数は前年に比べ大きく減少している。	

	自動車備品販売店（従業員）	販売量の動き	・客は必要な商品をできるだけ遅らせて買っている。ついで買いや衝動買いが無くなり、販売量の落ち込みが目立つ。	
	住関連専門店（店長）	お客様の様子	・客は来店しても、商品を眺めるだけという感じで、接客もままならず、成約になかなか結び付かない。	
	その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	販売量の動き	・既存店の販売量は前年比4.8%減と極端に悪くなっている。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・極端に悪かった9月よりは回復したが、売上は例年の90～95%の水準である。世界的な株安や円高の影響を受け、経営者の客足が遠のいているため、今後の営業展開が心配である。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・世界的な不況が客の心理を冷やしている。旅行のキャンセルなどが続出し、売上は前年の半分に落ち込んでいる。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・最近の夜の街は週末でも来客数が減っている。客は中心部の繁華街の高価な店を敬遠し、自宅近くで飲んだり、外出機会を減らしたり、節約志向が目につく。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・金融危機から株価が暴落して以降、売上が極端に落ちている。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・団体、グループ、個人の来客数は共に前年より減少している。また、比較的使用が多かった休前日や休日などの売れ筋日も最近では利用が鈍く、前年比で8%減少している。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量が3か月前に比べて半分に減少しており、極めて悪い。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注高は減少し、加えて購入決定までの商談期間も従来に比べ長くなり、客の慎重な様子が目立つ。また他社との競合も激しさを増している。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・8月の軽油価格のピーク時と比べ燃料費が減少している。前年との比較ではまだ高いが、若干の低下でもプラスである。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の情報では個人客に若干の動きが見られる。
	変わらない	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・売上に寄与するほどでないが、住宅向け商品はわずかながら回復している。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・円高による原材料費の値下げが見られる一方で、在庫調整による受注減など、プラスとマイナスの材料がある。受注・販売量はあまり高くないレベルのまま推移している。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・売上高、チラシ折込枚数共に前年と同じであるが、ホームセンターや大型ショッピングセンターなどのチラシサイズの縮小が相変わらず続いている。
		税理士（所長）	取引先の様子	・ガソリン価格の低下などから、製造業、販売業などの受注量や仕事量は比較的落ち着いた状況で推移している。
	やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・円高の影響もあり、輸出関連の受注が低迷している。国内市場向けも低調である。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売量がなかなか伸びない。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・ダンピング受注が相変わらず行われており、先行きにも希望がもてない状況である。ただ、予定価格に対する落札率がやや上向いてきている。
輸送業（配車担当）		取引先の様子	・円高等による不況のなかで、消費者の購買意欲が低下し、物の動きが次第に鈍くなっている。	
悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・販売商品の構成が高額品から廉価品へと大きく移行している。売上高は前年並みに推移しているものの収益が悪化している。	
	繊維工業（経営者）	それ以外	・客のニーズに合った企画商品は比較的良いが、従来のボリュームゾーン商品は販売価格面で厳しく、コストも高くなっている。	
	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・海外の受注では、銀行の信用状が発行されないため出荷できないケースや、円高に伴う価格高騰によりキャンセルが出始めている。	

		電気機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・携帯電話、パソコン関連の取引先では在庫調整に走っている。また新製品の開発に待ったを掛けており、極めて厳しい現状である。
		建設業（総務担当）	それ以外	・景気の先行きが見えないとして、マンションや工場などの建築予定工事が中止又は凍結されるケースが生じ、工事の受注量確保が厳しくなってきた。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・10月中旬から、事業所用の電話機が全く売れなくなってきた。客の設備投資抑制の余波が、もろに押し寄せている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・最近の景気低迷から、設備投資の予定を先延ばしにする取引先が見受けられる。
		司法書士	取引先の様子	・外国会社を出資者とする商工ローン貸金業者の貸しはがし、外資系一般消費者金融の店舗閉鎖等、世界経済悪化の影響が出ている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の出稿状況は前年に比べ約2割減少している。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・前年に比べ求人数が2割程減少している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業からの新規派遣需要が落ち込んでいる。コスト削減のため、契約更新されない派遣労働者も増えている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・製造業では派遣社員の契約終了に加え、中途解約が目につく。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・派遣を中心に求人数が減っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は7月以降、前年に比べ大幅に減少している。産業別では情報通信業、卸小売業で増加しているが、その他では大幅に減少している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・企業の倒産件数やその他の企業情報から判断して、雇用環境は悪化している。
		民間職業紹介機関（経営者）	周辺企業の様子	・今まで派遣契約を継続した企業が、契約満了で終わるケースが増えた。また新規の紹介、派遣求人も低調である。
悪くなっている				